

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	5		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までには2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		駐車場から事業所まではスロープがあり、車いすでも来所でき室内は段差なく十分な広さを確保しています。が、トイレは建物の構造上開口が狭く、利用しにくくなっております。	トイレは建物の構造上開口が狭く、車椅子の方には利用しにくくなっておりますが、使い方を工夫しながら対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		衛生管理を徹底し毎日の清掃・消毒をおこない、快適な空間づくりに努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室はありませんが児童の状況に応じてパーテーションを用いたり事務室を利用し、クールダウンできるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		毎月のリフレクション会議で日々の業務や改善点について話し合い、記録を取ることで未参加の職員とも情報共有をおこなっております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様のご意向を職員間で共有し、今後の改善点について話し合いながら業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングでは気付きや疑問について話し合いながら業務改善につなげております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		年間計画に基づき定期的に事業所内研修をおこない、職員のスキルアップをはかっております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		定期的のアセスメントを実施し、児童や保護者様のニーズや課題を把握し支援につなげられる計画を作るよう努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援に関わる全ての職員が話し合い、児童の特性や状況を把握したうえで意見をまとめ計画を立案しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画をもとに全職員が共通認識を持ち一貫性のある支援を提供できるように努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		社内共通のアセスメントシートを用いて保護者様から細かく情報を聞き取り計画作成に活かしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを踏まえ個々に合った支援内容や療育内容を考案しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		事業所内で話し合い、児童の年齢・特性や状況を把握したうえで意見をまとめ、計画立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		職員間で意見を出し合い定期的に活動を見直し、固定化しないよう工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童の課題に応じた個別活動と集団活動の組み合わせた支援をおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		当日の支援内容・役割分担や最近の様子を打合せし確認しております。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		職員間で振り返りをおこない、不在の職員には出勤した際、その日の打ち合わせの中で情報共有し、共通理解を図っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録には支援内容だけでなくその日の児童の様子や気付いた点・気になったことも記入し、支援の検証改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月以内に必ずモニタリングを実施し保護者様のニーズや児童の状況を把握したうえで見直しをおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		職員間で児童の現状を把握したうえで児童発達支援管理責任者が出席しております。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関と連携を回り連携した支援体制を整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて担当者会議や送迎時に保護者様の同意を得たうえで支援の見学情報共有をおこない、相互理解を深め連携を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		情報交換や助言を受けながら他事業所とも意見交換をおこない、共通理解を図っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を回り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		COMPASS内にある児童発達支援センターと連携を回り、課題が生じた際には相談し適宜助言を受けております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		個別の保育所等との交流はおこなっていませんが、COMPASS内の他事業所と交流する機会は設けております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳(HUG)や送迎時に保護者様にその日の様子をお伝えし、共通理解を深めております。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラムの活用やオンライン・トレーニングや家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者様とともに児童の現状を把握し様々な支援で支援したいながら適切な助言が出来るよう心掛けております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に運営規定・利用者負担等について丁寧な説明に努めております。また質問や不明な点がない等確認しながら進めております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先の観点を確認し、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントシートを活用し、ご家庭や学校園での様子を把握し、困りごとやご要望の確認をおこなっております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		保護者様に専門用語は使わず、分かりやすい言葉で支援内容を説明し、同意いただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		家族支援の時間を設け、お話をおうかがいすることで必要な助言をおこない、支援に繋げております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		現在交流機会は持っておりませんが、保護者様の意見をおうかがいしながら交流できる機会を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的に「COMPASSだより」を発行しております。また毎月事業所だよりとして療育や活動の様子について発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者様の状況や児童の特性に応じて情報伝達や意思疎通に配慮しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現時点では地域住民を招待する機会は実施できておりません。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを作成し職員・保護者様がすぐに確認できるよう掲示し、周知しております。また年間計画に沿って訓練も実施しております。
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、年間計画に基づき訓練をおこなっております。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメント時に聞き取りをおこない状況を把握しております。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギー表を作成し全職員で周知徹底し把握し対応しております。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、計画に基づいた研修や訓練を実施するなど、安全に十分配慮しながら支援をおこなっております。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全確保計画を作成し、取り組み内容を明示し、いつでも確認いただけるようにしております。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		ヒヤリハット報告書を作成し、事例はファイルで保管し、全職員で確認押印し再発防止に努めております。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に職員研修を実施し、虐待防止の理解と意識向上に努めております。	
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束は原則としておこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ないとは判断される場合には、保護者様へ十分に説明をおこない承諾を得たうえで個別支援計画に記載し、組織的な判断のもとで適切に対応してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。